



熊本市保育園連盟 保育士会

こんにちは！保育士会です



4月にご入職の保育者の皆様、おめでとうございます。

保育者＝園で働くすべての職員のことです。

「よし！笑顔いっぱい楽しい毎日に・・・」と心躍らせたものの、まだまだ園生活や新しいクラスに慣れない、不安で泣いているお子さんの対応に戸惑っている方も多いかもしれません。まずは抱っこ優しい語り掛け・・・小さければ小さいほど、大人の思いを肌や声で敏感に感じています。それに、私たちはこどもまんなか社会期待の星！保護者に地域にこどもとのかかわり方や子育てを伝えていく専門職です。

熊本市保育園連盟には保育士会（看護職、保育補助等含む）、給食部会があります。

各園の方針や計画を理解し保育をすることも大切ですが、まずは社会人としてはもちろん、保育者としてきちんとした服装や言葉遣い、態度、笑顔等々当たり前を身に付けていきましょう。柔らかなたたずまい、態度が保護者の信頼や安心感につながります。

不適切保育にならないためには、適切な保育について園で見直す、考える、全国保育士会「人権擁護のためのセルフチェックリスト」や「これって虐待？～子どもの笑顔を守るために～（保育者向け児童虐待防止のための研修用ワークブック）」（全国保育士会 HP）に繰り返し、みんなで取り組みましょう。

また、皆さんのお手元には「保育者のこころえ」ありますか？保育所保育指針、認定こども園教育保育要領もありますよね？繰り返し手に取り、ボロボロの付箋だらけになっていますか？

国は指針等の見直しに着手しています。10年ごとに新しい指針が出るわけですが、現行のものを理解していないと次の改定の際、理解ができないそうです。

園外の研修だけではなく、自己を振り返る、自分を磨くことが大切です。

だって、専門職ですから。一緒に頑張りましょう！



〈報告〉 R6. 4. 12 九社連保育協議会各県（市）会長・保育士会長合同会議

○令和7年度より全国保育研究大会（全社協）及び全国保育士会研究大会（全国保育）の一本化、「全国教育・保育研究大会」（東京）と名称変更。九州ブロックの発表割り当てが4分科会から2分科会に変更。

尚、全国保育士会の研究テーマに基づく5分科会及びテーマは決まっており、6年度より研究園を選び、研究に取り組む。全社協が定める分科会数及びテーマは7年度に向け全社協で今後見直し。

令和7年度九州三団体研究大会発表園の中から選ばれた園➡「全国教育・保育研究大会」で発表

全社協発表＝園の実践発表 全国保育士会の発表＝1年間の実践・研究の翌年の発表

○令和6年度 第67回全国保育研究大会（奈良大会 10月17, 18日）

第57回全国保育士会研究大会（高知大会 11月21, 22日）

がそれぞれ別々の最後の大会になります。



【全国保育士会の新しいパンフレットができました】

以下のパンフレットに関しては、早急にお目通しいただきたいものです。離乳食も含めた給食の対応、保育者等による性暴力といったニュースで取り上げられています。正しい対応、適切な保育のため保育士・保育教諭等の入職時にきちんと理解し、抑えておくべき内容です。

食育に関するもの（3部作）

保育者向け	毎日の食事を中心とした食育の推進～保育のなかの食育～
保護者向け	毎日の食事ですぐ子どもたち～園と家庭がつながる食育～
地域の関係者向け	毎日の食事が子どもを育てる～地域でつながる食育～



保育者の性暴力に関するもの

『自らの保育実践を自信をもって発信するために「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性』（保育所保育指針等との整合性を図られている項目は次の通りです）

抱っこ・おんぶ、ふれあい遊び等、午睡時、プール・水遊び、乳児への排泄の援助、1歳以上児への排泄の援助、着替え（水着等含む）、沐浴、シャワー、身体測定、目視や触診での確認、写真撮影

令和6年度 熊本市保育園連盟

保育士会

〈テーマ〉『こどもまんなか社会』～専門職として、ウエルビーイングを目指すとは～

〈主旨〉こども家庭庁が創設され、「こどもが幸せでいることが全ての人々のウエルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）につながる」と『こどもまんなか社会』の実現に向けて大きく動き始めました。

これは保育者の使命である「こどもの育ちを守る」「保護者の仕事を支える」「子どもと子育てにやさしい社会をつくる」と大きくリンクします。保育者が専門職としての知識や経験をもとに、こどもの思いや笑顔、育ちの姿、関わり方を保育者同士、保護者・養育者、子どもと関わる他の職種に伝えることが重要になってきます。

保育を取り巻く状況は非常に厳しいものがありますが、研修方法を工夫し、先ずは子どもたちへの深い愛情や思いを大切に、日々の保育の喜びや気づきを連盟加盟園の保育者同士が相互に発信し、共有し、保育のなかまとして手を携え、笑顔で日常を過ごせるよう学びを進めてまいります。

給食部会

〈テーマ〉食を通して生きる力を育む

〈主旨〉「食」に対する良い習慣は「からだ」のみならず「豊かなこころ」の成長にも欠かせません。「食」は、人が生涯にわたって健康で生き生きとした生活をおくる基礎となります。

近年、家族形態の変化により、栄養の偏り、朝食抜き、幼児期の肥満・痩身傾向の増加、「こ食」（孤食・個食・子食・固食・濃食・粉食）など乳幼児の食に関する問題が深刻化しています。また、メディアによる様々な情報の氾濫などにより、職に対する価値観も変化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されています。

そのような中、園での給食や食への取り組みを行うことによって、身体やこころの成長、将来の「食を営む力」を培っていくものと考えられます。

当部会では、給食に携わる全ての職員が連携して、子どもを取り巻く食の課題について共有し、発達段階に沿った食育の在り方や保護者への発信等について学びを進めてまいります。